



発行所
八郷町役場
茨城県新治郡八郷町
大字柿岡2009
電話4・104・114番
印刷所
石岡市寺木町
飯島印刷所
戸数と人口 (11月末)
世帯数 5,712
人口 男 15,842
女 16,670
計 32,512

△第四回定例会

石岡一高 八郷分校 実習地に七反八畝

町議会定例会(第四回)は、十一月二十七日午前十時半、八郷公民館で二十六名が出席してひらかれた。八郷分校の実習地や役場敷地の取得の取得について、では次の土地を買収取得することに決めた。

役場敷地は五百六十九坪

高校県移管の準備すすむ

八郷町役場敷地の取得について、では次の土地を買収取得することに決めた。

大字柿岡二、〇〇九番の四宅地 五十五坪十二
大字柿岡二、〇〇七番の四山林 四歩
大字柿岡二、〇〇八番の三山林 一畝十九歩

これで役場の敷地は、旧柿岡町役場敷地二百五十九坪二十の現庁舎の裏に、すでに買収済のものを含めて二百十坪六十四が加えられ、敷地の総坪数は五百六十九坪八十四となった。



（音）（楽）（会）

美しい演奏にのせて、清らかな歌えが晩秋の青空の下、山根盆地いづばいにこだまする。八郷班の小中学校音楽会が、ことしは小中二十二校が合同で11月24日、石岡一高八郷分校の講堂で行なわれ、日ごろの研究成果を発表した。写真は、恋瀬小の合奏「牧場の朝」

高校実習地買収費 九十万円など追加

昭和三十四年度八郷町歳入歳出追加更正予算について、では、高校実習地買収費九十万円二千元をトップに、歳出の部の主な追加更正は次のとおり。

- 追加分
〔役場敷地買収費〕 二十五万五千円
〔土木費〕 道路橋梁原材料費計 九十万円
〔教育費〕 小核第二小増築費追加分 七十万円
高校実習地買収費 九十万円
高校修繕費 十七万五千円
保健衛生費 一般住民健康診断手数料 十四万一千五百円

管が出来る見込みです。町議会議員期末手当支給条例の一部を改正する条例では、いままで「百分の七十五」であったものが「百分の百三十」に改められた。

町有財産の処分について、は、元自治警察片野巡査公舎の建物(木造杉皮葺、平家建、一棟、十二坪)を無償で片野部落に払い下げた。

△第四回臨時会

役場庁舎建築工事の請負契約

第四回臨時会は十二月十六日、八郷公民館で午前十一時開会、役場庁舎建築工事請負契約と、字の区域変更の二つの議案を議決した。

村字の一部を八重に編入

八郷町役場庁舎建築工事請負契約の締結について、では、役場庁舎は鉄筋コンクリート造り二階建(地下室付)一棟三百八十二坪四五六、工事の請負契約金二千二百八十万円以内で行われる。

入札は五業者(柴山土建、大成建設、安藤組、武藤建設、西山工務店)による指名競争入札で、町長は落札者と契約を結ぶことに決定した。

字の区域の変更について、では、大字宇治会字村字の一部を大字柿岡字八重に編入するものです。

大字宇治会字村字
細一、〇四一、〇四二、〇四三、〇四四、〇四五番地
二五五番地
宅地一、二二三の三、四番地、一、二、三番地

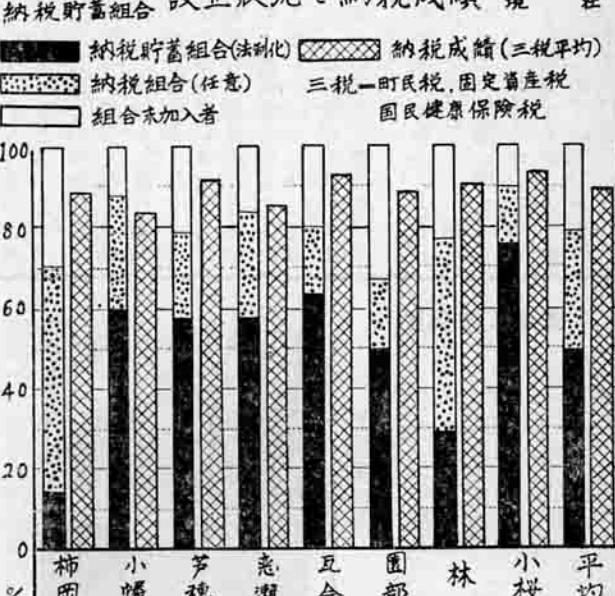
の三十二の地番で、大字宇治会、小松崎庄左衛門、宮川照夫、小松所組の三世帯は、昭和三十五年の一月一日より、大字柿岡になり、これで永い間の不便が解消され、新しい年を迎えることが出来るわけです。

町議会議員選挙

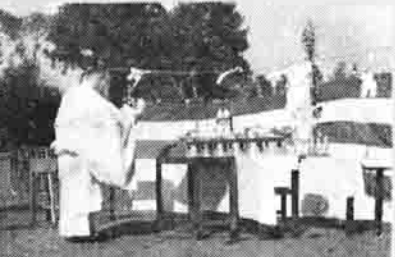
町の議会議員の選挙は、十二月二十四日行なわれ即日開票の結果三十名(新十三、元十七)の代表がきまつた。

地区	定数	得票数	得票率	候補者
柿岡地区	五	84	6%	滝田 欣一
当六五	吉田 次郎	53	34	新
当三六一	綿引仁太郎	34	52	新
当三三一	土田庄右衛門	52	34	新
当三三〇	川井 林平	30	54	新
小幡地区	四	89	2%	寺田 武男
当四四四	塚谷 明	50	50	新
当四四七	込山 春男	58	50	新
当四二七	中島 益家	56	58	新
当四二〇	大塚 勘二	48	30	新
当四一〇	潮田 勘二	30	9%	新
芦穂地区	四	90	9%	吉沢 佐内
当五五八	本國桂 一郎	69	51	新
当五五三	馬立 林蔵	51	51	新
当五三九	鈴木 栄三	43	49	新
当三八五	鈴木 栄三	43	49	新
恋瀬地区	四	87	6%	青木 茂夫
当四八三	友部 来三	64	52	前
当四八二	柘植要五郎	59	59	前
当四七九	浅野 篤	59	59	前
当二七九	高久 長男	46	59	新
瓦会地区	三	91	9%	小川原 四郎
当四一四	桜井 浩蔵	63	59	前
当三六九	石田 忠雄	59	59	前
当三六八	鈴木源四郎	63	59	前
当二四六	鈴木 重美	52	63	前
当二四二	鈴木 重美	52	63	前
当二四一	小川原 一三	66	66	前
園部地区	四	88	0%	真家 只吉
当五三七	岩瀬 孝雄	53	61	前
当五三二	山田 米雄	52	53	前
当五三一	須藤 善一	58	61	元
当五二八	菱沼 忠	58	61	元
林地区	三	92	5%	鶴井寛四郎
当五二〇	市塚 長一	50	50	新
当五二〇	武熊 繁正	63	50	新
当五二〇	関口 栄一	55	50	新
当五二〇	桜井 敏雄	32	49	前
小幡地区	四	90	4%	萩原 喜文
当五二九	関川 好雄	54	54	前
当五二八	滑川 孟	41	50	前
当五二八	原田 孝広	60	41	新
当五二八	友常 孝広	54	60	元

納税組合設立状況と納税成績 昭34.10.31現在

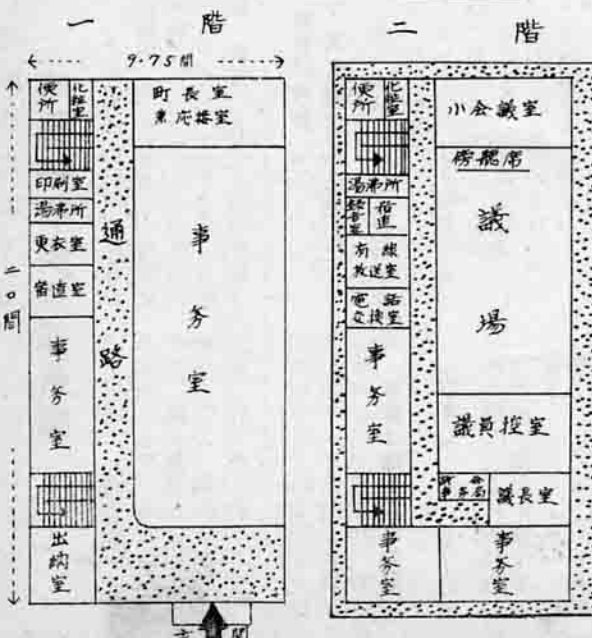


吉沢佐内(上ノ寺、小屋、山居)中島要(小倉)軽部栄助(上倉)鈴木桂(上根、北郷)本國桂一郎(辻、小久保、瓜谷)広瀬志(太田)市村貞次(小見)大國延之助(中戸)竹林金庫(大塚)宇田徳次(大塚)岡本七郎(大塚)板敷純(大塚)宮部忠蔵(部原、下宿、平沢、両村、山寺)比賀新一郎(小幡、宇治会の一)田島ひで(宇治会)野村宗市郎(野田、佐久、達磨)国谷重左右(上宿、石田、布野、寺下)広瀬政久(西久保、西原、上坪、神影、長原)高橋マツ(向原、中坪、下坪)鶴井寛四郎(鶴沼、永沼、園東)永井要(上郷、山根、真家)大槻為之(宮ヶ崎、張間、竹ノ内、新倉)本郷守之助(真家、園中、千本、郷中)野口せつ(東山崎、南山崎、園西、上谷原)須藤善一(柴間、宿山崎上、下)島田作造(嘉良寺里、里、片岡)大木フサ(根小屋)吉川イシ(浦須、上林、前島)小林文雄(下林、飯塚)久家泰明(大関、戸ノ内)原田徳徳(半田)関久雄(小野越、仏生寺)小松崎朝十郎(弓弦、柴内)宮司順(半田)田上政子(月岡、青田)松延勝雄(辻、高浦沢)岡崎喜福(川又)



新役場敷地地鎮祭 (11月21日)

新役場庁舎見取図





この新法のかんじんな内容は、国民皆保険にするため、財政的裏付けとともに国民皆保険の土台として、国民健康保険事業の健全な運営を確保し、市町村の国保実施の義務をきめ、被保険者資格を明らかにし、保険給付内容の充実、療養担当者制度をきちん

とし、国庫負担制度を改善するなど、旧法の全文にわたって改正が加えられた。
まず第一は、国保事業に対する国の責任をはっきりとし、また一部負担の割合も、療養給付費の二割はすべて市町村に負担するに改め、事務費については、も負担金とするほか、あらたに市町村における療養給付費の見込額の五分に相当する調整交付金制度をもうけ、市町村の行方国保の財政を調整し、負担の均衡および保険給付の充実をはかることとされた。これに伴い、市町村が国民健康保険を実施する義務をきちん

文化祭にぎわう

公民館の各地区分館主催の文化祭が、こしも十一月初旬から十二月初旬にかけて行なわれた。地区によってその催しはまちまちだが、運動会、野球大会、演奏会、俳句会、将棋会、品評会、各種展示会など、その地区の特色を生かし、連日千客万来である。



齊藤さんら入賞

八郷町の菊花品評会は、年々さかになり、こしは第四回で菊地方之助(養菊会々々)の菊の会場は、色とりどりの菊の花二百五十点で埋められた。授賞式は十一月十七日行なわれ、知事賞をはじめとして数々の賞状賞品が贈られた。主な入賞者は次のとおり

正しい食事のとり方や実演

町の教育委員会と公民館が主催して、十二月十一日八郷公民館で、食生活の改善講習会が柿岡地区婦人会の協力を得て行なわれた。

食生活改善講習会

東京栄養改善推進会理事の桜井先生の指導で、午前中は講義、正しい食事のとり方やカルシウム分を含んだ食物は頭をよくするとか、いつまでも若く元気で、美しくあるための食事のとり方などの話があった。

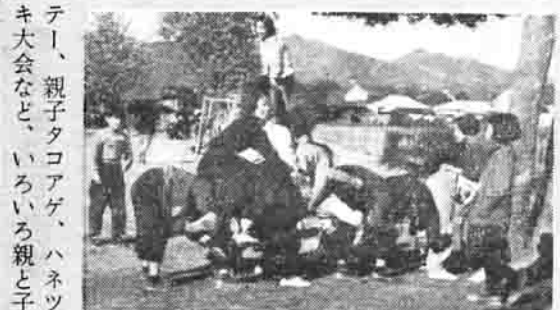
午後には実演で、「あじと野菜の中華煮」「柿の白和え」「蒸しカステラ」「フルーツサラダ」の作り方を行い、最後に参加者百五十名で試食をした。参加した主婦の一人は「こんな有意義な講習会では、農閑期を見はからつて年に何度も開いて欲しいですね」ということでした。

冬休みにになりました。この部活でも、学校でも、冬休みのこどもの生活について熱心に考えておられること、思います。冬休みは、農村では農閑期です。親と子がいっしょになって楽しくすごす

子供会中心に火遊びに注意など

なかでお互の気持が通じあうようにしていくことがたいせつです。お互の気持が通じあえば、そこには理解が生れ、対立的な傾向が解消し、住みよい家庭や部落が生まれることでしょう。

冬休みのこども



冬休みのこども会活動は、年忘れ楽しみ会や、新年パーティ、親子タコアゲ、ハネツキ大会など、いろいろ親と子

四地区で母親学級を開講

このほど町では、家庭の衛生思想の普及、特に母子保健の向上をめざして、柿岡、小幡、芦穂、園部地区で、一般家庭の主婦(特に若妻)を対象に第二回母親学級講座を開講した。これは十二月八日から始められ、三月末に修了式を行うもので、妊娠や出産について正しい知識を身につけ、丈夫な赤ちゃんを産み育てるため、すべての迷信や、因習を破り、正しい生活をきづくことをネライとして、それにはお母様方はもちろん、ご主人

移動福祉相談室

昨年度につづいて、こしも巡回の福祉相談室が、去る十二月十五日から、園部、芦穂、小幡の公民館でそれぞれひらかれた。この相談室は、支庁と町、それに郡と町の社会福祉協議会の共催で、町の民生委員協議会、青少年問題協議会、教育委員会、保護司会、区長会、身体障害者福祉会、婦人会、青年会、遺族会、未亡人会が後援するというなかなか大がかりなものである。十五、十六、十七日の三日間にこの相談室に出向いた人は百余名で、生活相談、母子福祉相談、身体障害者更生相談など、各種相談から、健康診断、簡単な投薬など医療措置にいたるまで、約二十名で編成されるこの移動福祉相談室は、各地で大活躍した。住民の健康と福祉の増進に寄与することを眼目とするこの相談室は、前年以上の収穫を得て終了した。

靖国神社参拝報告祭

遺家族代表で、合同慰霊祭が高友丸山殉国之神前で、十二月十一日に行なわれた。こしは十一月に遺家族一世帯一名で、靖国神社参拝を行ない、合同慰霊祭は遺家族代表として、各地区役員、それに議会議員など約二百名が参列して、報告祭として、簡潔に行つたものである。

大久保さんら表彰

去る十二月八日に茨城会館で、統計関係者など八百余名が参加して、茨城県統計大会がひらかれた。本町では、統計功労者として次の三氏が表彰された。茨城県統計総裁賞 調査員 大久保 茂 調査員 関 文吾 統計係 河村 照如



八郷一周駅伝競走 (十二月十二日) の数字は総合順位

- 1 柿岡A (2) 2時間30分35秒
- 2 瓦 会 (3) 2時間32分48秒
- 3 園部A (5) 2時間34分14秒
- 4 小幡 (6) 2時間37分19秒
- 5 柿岡B (8) 2時間38分26秒
- 6 恋瀬 (9) 2時間40分00秒
- 7 小幡 (10) 2時間40分00秒
- 8 芦穂 (11) 2時間40分00秒
- 9 園部B (13) 2時間40分00秒
- 10 青年の部 (14) 2時間29分34秒



はいく 増子海蔵 五会中学校、同PTA 会主催にて優良校視察 〇幻燈の暗幕隙間風許す 〇二階への階段広き小春かな

職員人事異動

新任課職名 旧課職名 秘書企画課長 岩本佳之 (兼広報課長) 広報課長代理 皆川市郎 (園部支所長) 園部支所長代理 栗野昇 (秘書企画課) 厚生 課 大木玄祥 (林支所長) 林支所長代理 鎌田義夫 (税務課) 死 亡 飯島 寛 (総務課)